



## 雪崩（なだれ）について

雪（ゆき）がたくさん降（ふ）ると、災害（さいがい）が起（お）こりやすくなります。次（つぎ）のことに気（き）をつけましょう。

1 山（やま）などに積（つ）もった雪（ゆき）が、急（きゅう）にくずれ落（お）ちる「雪崩（なだれ）」が起（お）こることがあります。道（みち）に「雪崩注意（なだれちゅうい）」や「落石注意（らくせきちゅうい）」の看板（かんばん）がある場所（ばしょ）には、近（ちか）づかないようにしましょう。一度（いちど）にたくさん雪（ゆき）が降（ふ）ったときや、気温（きおん）が急（きゅう）に高（たか）くなったときには、特（とく）に気（き）をつけましょう。

2 家（いえ）の屋根（へや）から雪（ゆき）が落（お）ちてきて、怪我（けが）をすることもありますので、気（き）をつけましょう。

3 道路（どうろ）の雪（ゆき）を取（と）り除（のぞ）くときには、自動車（じどうしゃ）などに気（き）をつけましょう。また、用水（ようすい）などに雪（ゆき）を捨（す）てるときは、用水（ようすい）が溢（あふ）れないように注意（ちゅうい）しましょう。

4 屋根（へや）の雪（ゆき）をおろすときは、屋根（やね）から落（お）ちないように、体（からだ）をロープで固定（こてい）したり、滑（すべ）り止（ど）めをつけ、家族（かぞく）や近所（きんじょ）の人（ひと）に知（し）らせ、1人（ひとり）での作業（さぎょう）はしないようにしましょう。特（とく）に暖（あたた）かい日（ひ）や雨（あめ）の後（あと）は屋根（やね）が滑（すべ）りやすいので十分（じゅうぶん）注意（ちゅうい）しましょう。

これからもたくさん降（ふ）るかもしれません。そのときは、十分（じゅうぶん）気（き）をつけましょう。